

近畿[※]における米生産をめぐる状況



令和8年3月

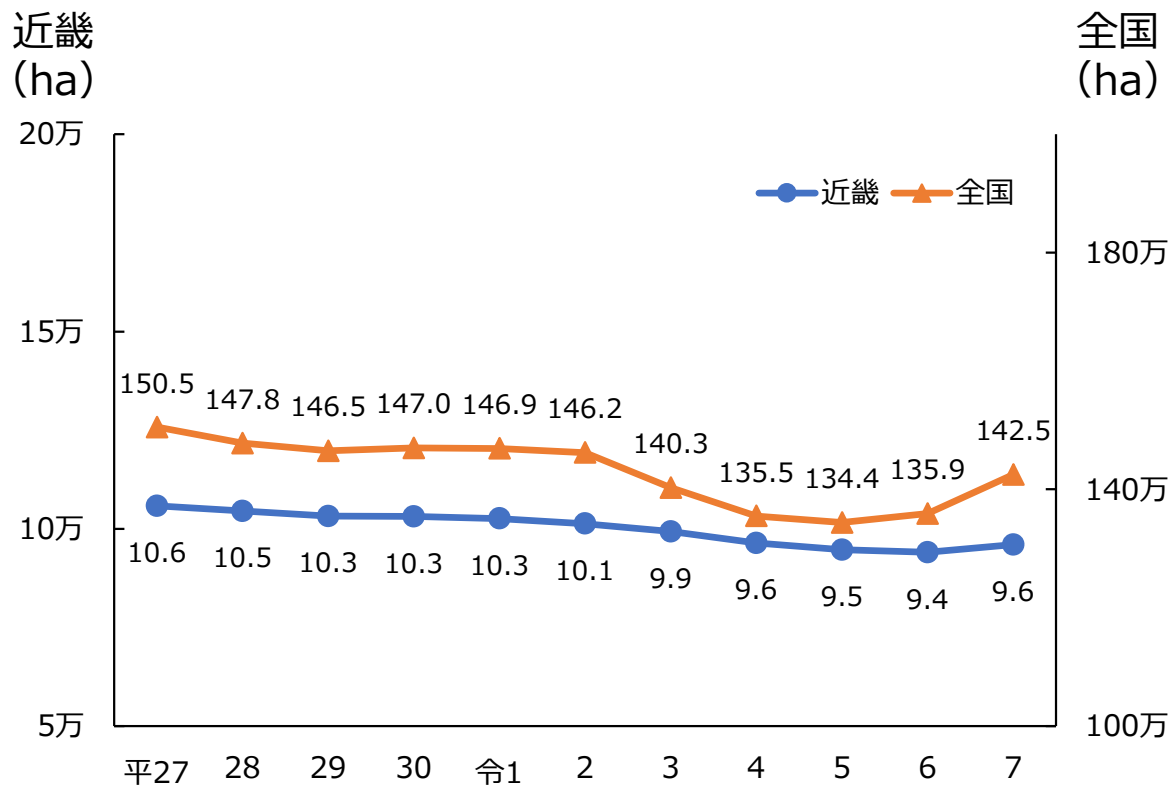
近畿農政局 生産部 生産振興課

※本資料において、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

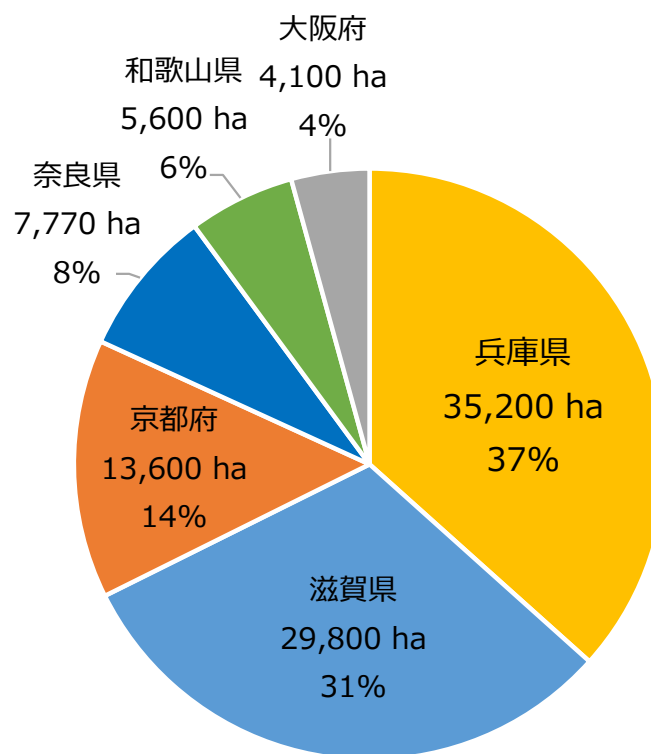
水稻の作付面積

近畿における令和7年産水稻の作付面積は96,000haと増加傾向で推移しており、全国（1,425,000ha）に占める割合は7%です。
府県別では、兵庫県が35,200ha、滋賀県が29,800haで、両県で近畿地域の68%を占めています。

水稻の作付面積の推移



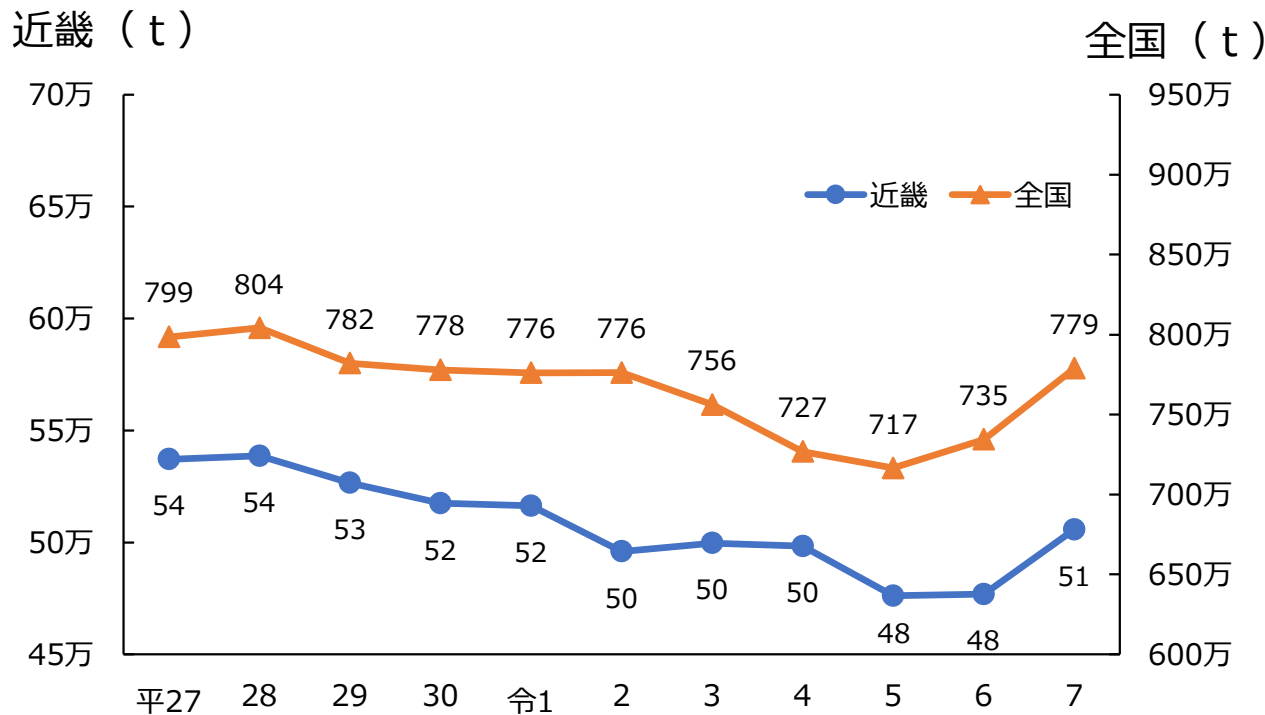
令和7年産水稻の作付面積



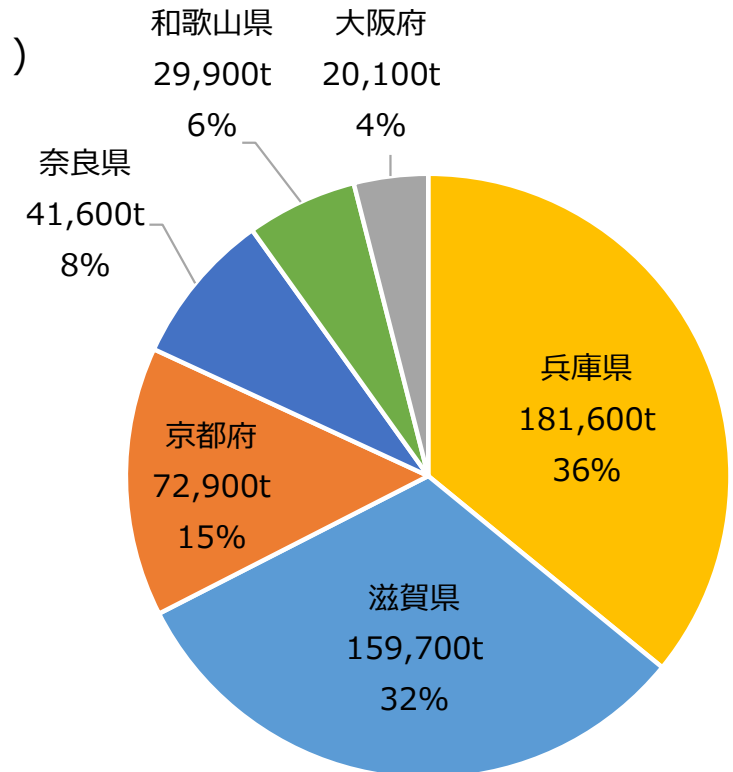
水稻の収穫量

近畿における令和7年産の水稻の収穫量は、505,800 t で全国（7,790,000 t）に占める割合は約6.5%となっています。
府県別では、兵庫県が181,600 t、滋賀県が159,700 t で、両県で近畿地域の収穫量の67%を占めています。

水稻の収穫量の推移



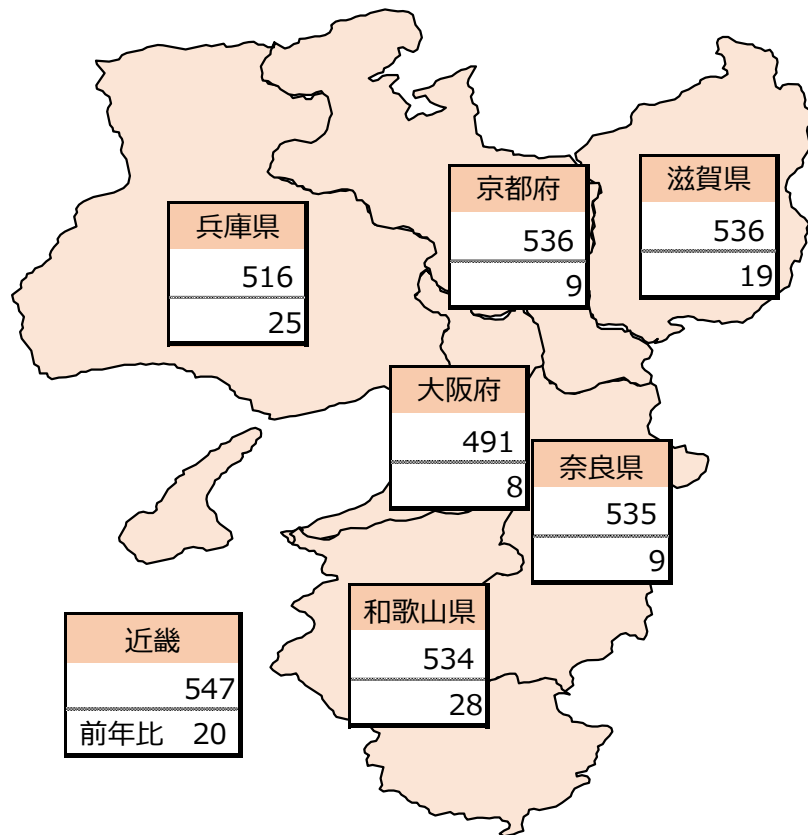
令和7年産水稻の収穫量



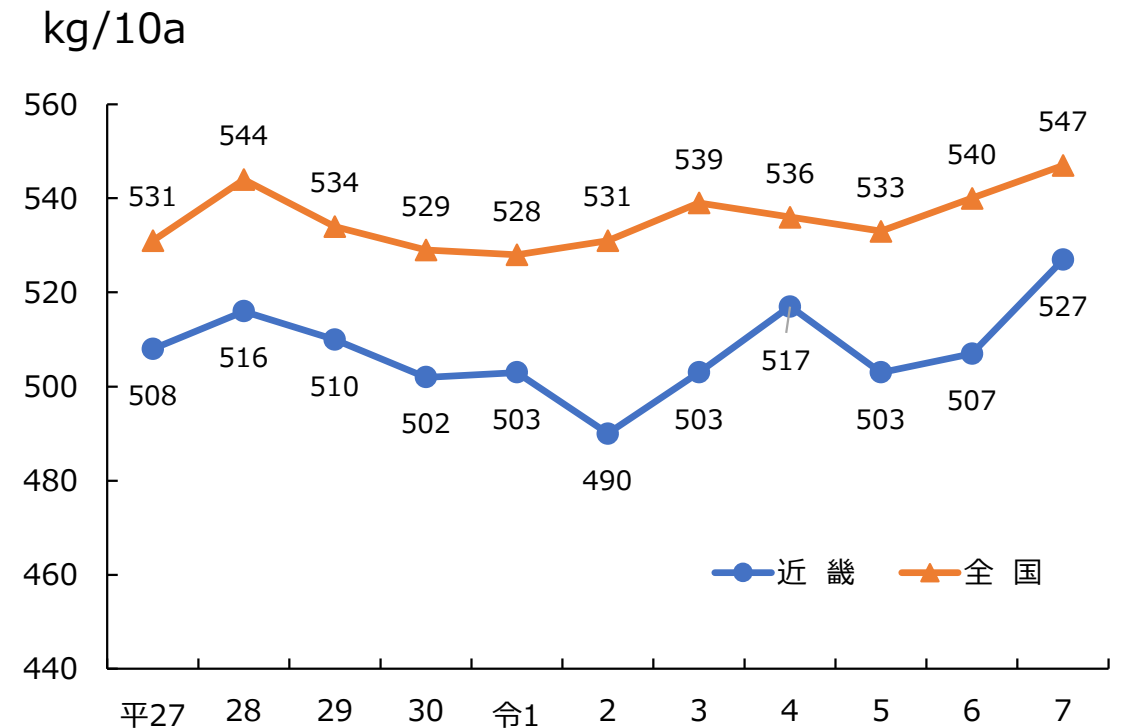
水稻の10a当たり収量

近畿における水稻の10a当たりの収量は、令和7年産が527kg/10aとなり、昨年
比べ単収が増加しました。
全国では昨年に比べ、令和7年産は547kg/10aと増加しました。

令和7年産水稻の10a当たり収量



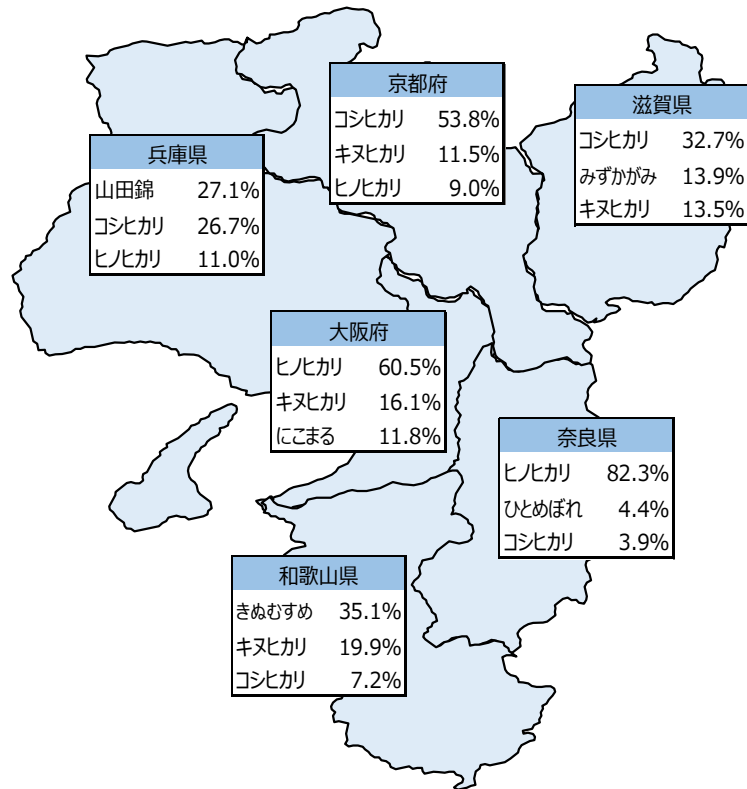
水稻の10a当たり収量の推移



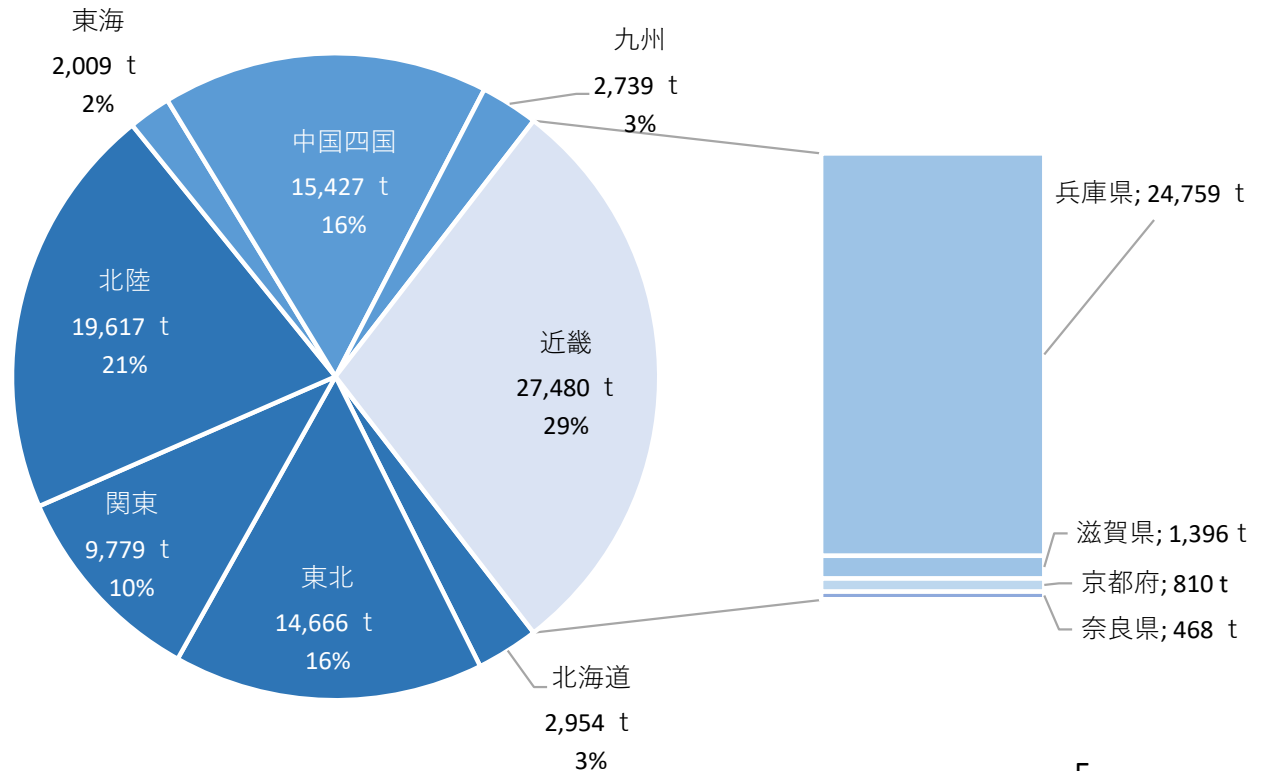
水稻の品種別の農産物検査状況

近畿における令和6年産の府県別主要品種の検査状況をみると、コシヒカリが滋賀県（32.7%）及び京都府（53.8%）、ヒノヒカリが大阪府（60.5%）及び奈良県（82.3%）、きぬむすめが和歌山県（35.1%）で、各府県でのシェア1位となっています。兵庫県では酒造好適米の生産が多く、山田錦の県内シェアが27.1%（1位）となっています。令和6年産醸造用玄米の検査数量をみると、全国の検査数量は94,672 tで、兵庫県は24,759tと全国の26%を占めています。

令和6年産水稻の品種別の検査状況



令和6年産醸造用玄米の検査数量

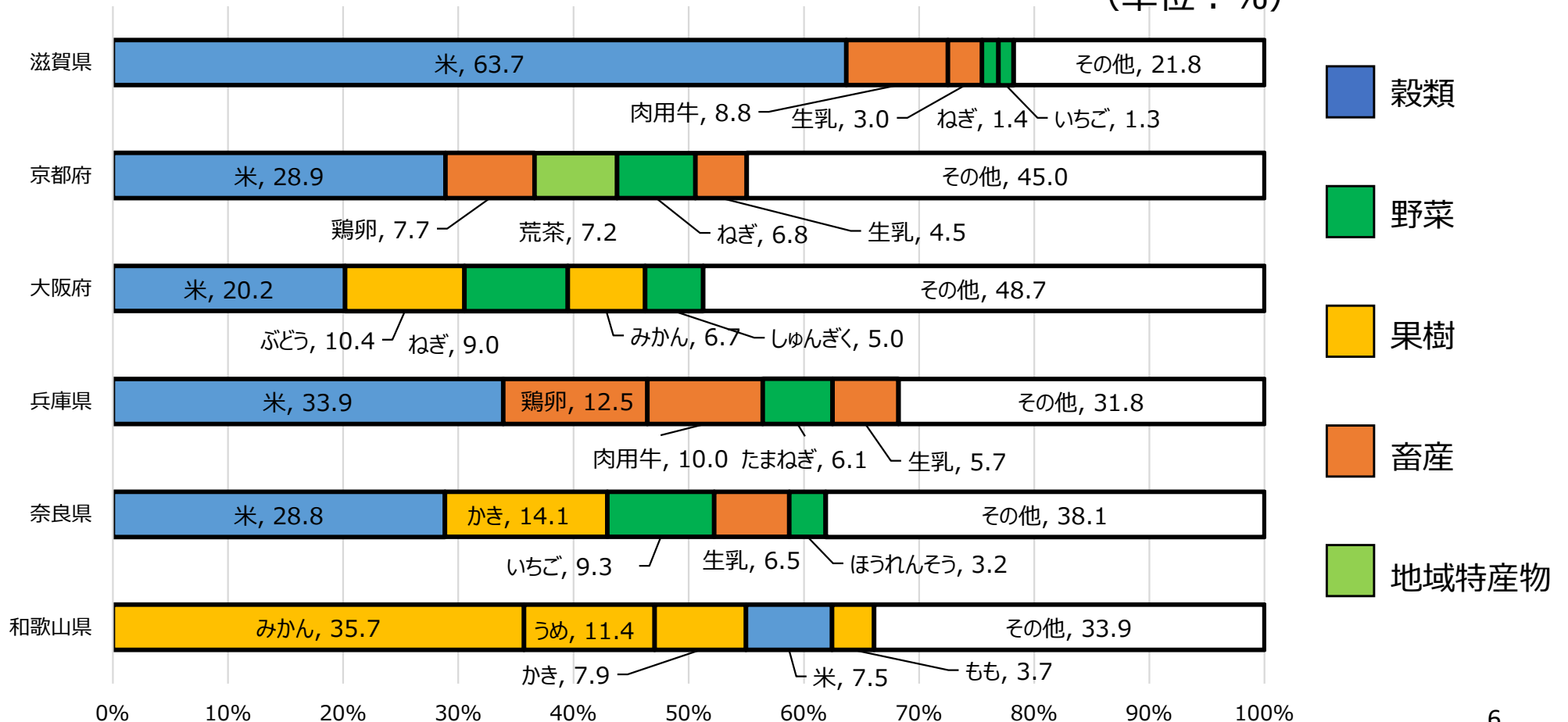


農業産出額に占める米の割合

近畿における令和6年の農業産出額をみると、和歌山県を除く5府県で、米の占める割合が第1位となっています。
中でも滋賀県は、農業産出額の米の占める割合が63.7%となっており、他府県と比べて高くなっています。

各府県の農業産出額の上位5品目と割合

(単位：%)

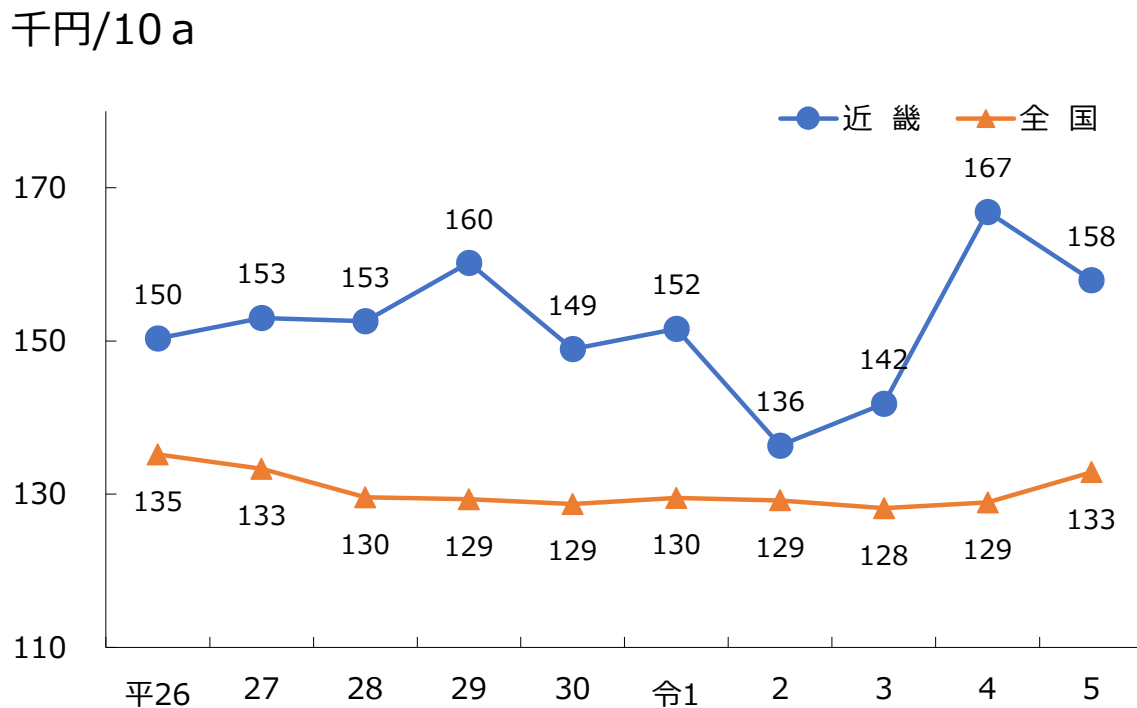


資料：農林水産省「生産農業所得統計」

米の生産費（個別経営体）

近畿における令和5年産の水稲10a当たり生産費（全算入）は157,934円で、昨年から減少し、全国（132,863円）と比べて高くなっています。
近畿の生産費の内訳をみると、労働費が30%と高く、次いで農機具費が21%となっています。

10a当たり生産費(全算入)の推移



令和5年産米の生産費の構成割合（近畿）

